

# 公共事業の効果等について

## 【事業名、地区名、事業概要】

- 事業名：道路改良事業
- 路線名又は箇所名：国道263号（大和工区）
- 事業の概要
  - 工 期：昭和46年～平成17年
  - 事 業 費：約110億円
  - 事業内容：道路改良  $L=9.6$  km
  - 幅員  $W=6.5$  (11.0) m

## 【公共事業の効果等】

- 道路線形不良箇所の解消
- 隘路区間の解消
- 交通安全の確保

## 【事業実施前の状況等】

一般国道263号は、福岡県と佐賀県を結ぶ連携強化としての幹線道路である。

しかしながら、特に佐賀市大和町区間においては、急カーブが連続的に存在した線形不良箇所・車道が1車線で幅員狭小区間があり、通行車両に非常に危険な状況であった。また、歩道も未設置であるために、歩行者においても非常に厳しい状況となっていた。

よって、期成会等により道路整備についての要望がなされていました。

## 【事業実施後の状況や県民の声など】

バイパス整備により、線形不良箇所の解消がなされ、車道においても2車線の規定幅員の確保ができ、通行車両の安全走行に寄与している。

また、歩道も整備した事により、自転車や歩行者の交通安全確保ができた。

（県民の声）

- スムーズな通行ができるようになった。
- バイパスに歩道が整備され、児童を含む歩行者や、中学高校生の自転車や歩行が、安心して通行できるようになった。
- バイパス整備されたことで、福岡県からの観光等の利用が増え、地域が活性化した。
- 旧道の交通量が減り、民地から道路への出入りが容易になった。
- バイパス整備により、時間短縮が図られた。